

平成28年度大学コンソーシアムやまがた第1回総会議事録

- 日 時 平成28年6月28日(火) 13:30~14:32
- 場 所 ゆうキャンパス・ステーション及びテレビ会議
- 出席者 羽陽学園短期大学 : 渡邊 洋一 学長
 鶴岡工業高等専門学校 : 高橋 幸司 校長
 東北芸術工科大学 : 遠藤 節子 幹事会副委員長/事務局次長
 東北公益文科大学 : 吉村 昇 学長
 →代理 神田 直弥 学部長
 東北文教大学/東北文教大学 : 大川 健嗣 幹事会副委員長/学部長・教授
 短期大学部
 放送大学山形学習センター : 櫻井 敬久 所長
 山形県立産業技術短期大学校 : 横山 正明 校長
 山形県立農林大学校 : 石川 一夫 校長
 山形県立保健医療大学 : 前田 邦彦 学長
 山形県立米沢栄養大学/山形 : 鈴木 道子 学長
 県立米沢女子短期大学 : 井上 元治 幹事会副委員長/理事・事務局長
 山形工科短期大学校 : 勝見 英一朗 校長
 →代理 菅原 邦生 准教授
 山形大学 : 小山 清人 学長
 " 安田 弘法 幹事会委員長/理事・副学長
 " 栗山 恭直 企画会議委員長/教授
 山形県 : 柴田 智樹 総務部長
 →代理 遠藤 隆弘 総務部学事文書課長
- 欠席者 東北芸術工科大学 : 根岸 吉太郎 学長
 東北文教大学/東北文教大学 : 鬼武 一夫 学長
 短期大学部
 山形県立保健医療大学 : 川崎 正則 幹事会副委員長/理事・事務局長
- 報告事項説明者
 山形大学 : 横井 博 山形人材育成委員会・企画運営部会長
 /山形大学教授
- 陪席者 山形大学 : 成田 博昭 教育・学生支援部長
 山形大学 : 武田 仁志 教育・学生支援部学務課長

I 開会

はじめに、事務局から、新たに委員になった5名の紹介、総会成立の報告及び報告事項1の説明者として山形大学 横井 博教授が出席している旨の紹介があった。

II 議事

[役員を選任について]

事務局から、役員任期終了に伴う役員選任について、会則による説明と役員案の提案があり、以下のとおり選任された。

会 長	小山 清人 (山形大学)
副会長	根岸吉太郎 (東北芸術工科大学)
同	前田 邦彦 (山形県立保健医療大学)
同	吉村 昇 (東北公益文科大学)
同	鬼武 一夫 (東北文教大学／東北文教大学短期大学部)
監 事	鈴木 道子 (山形県立米沢栄養大学／山形県立米沢女子短期大学)
同	柴田 智樹 (山形県)

(これより、小山会長による議事進行。)

会長から、本会議の議事録署名人として、羽陽学園短期大学 渡邊委員と山形大学 安田委員の二人に依頼があった。

[報告事項]

1 山形人材育成委員会の平成27年度活動報告について

山形大学 横井教授から、資料1の平成27年度報告書「美しい山形を活用した「社会人力育成山形講座」の展開(冊子)に基づき、開講科目数、受講者数、各評価における26年度と27年度の比較、受講者の就労意向、各部会の開催状況及び最終年度の事業計画等の報告があった。

このことに対し、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ (本事業は)平成28年度で終了するということが、29年度以降の計画のようなものはあるのか。(小山会長)
- 29年度以降については、どのように継続させるかがテーマだと思う。それについては各大学と大学コンソーシアムやまがたで取り上げた方が良いものがあると思われるので、それらをまとめて、前期が終了した時点で提案、若しくは方向性を確認していくことを考えている。(横井教授)
- ・ 28年度で取り組んでいる間に是非29年度へ向けた提案をいただきたい。(会長)

2 平成27年度事業報告について

事務局から資料2に基づき、平成27年度事業報告について説明があり、以下の質疑応答があった。

(質疑応答内容)

- ・ 大学等進学説明会を15校で行っているが、その効果はどうだったか。(会長)
- 昨年度開催のうち、およそ8割の高校へ出向いて高校の先生から話を聞くことができた。内容は大学の模擬講義をしてもらうだけでも生徒の刺激になる、学年ごとに春と秋の2回開催を考えているなどの話や、体育館で一堂に行っていたものを大学ごとに各教室に分けて実施したいなど、(高校の進学担当の)先生達も大学進学に向けて工夫して今後も実施したいという声が多い。(事務局)
- ・ この参加大学だけの教員が出向いているのか。(会長)
- 一大学で複数学科の希望がある場合には、その学科毎の教員も出向くためもっと多い人数になる。(事務局)
- ・ 私の大学も進学説明会に力を入れており、別途県と協力して看護体験なども行っている。今後ともこのような取り組みは積極的にやってもらいたい。(前田委員)
- ・ これは今年度も続けていくのか。(会長)
- (28年度は)すでに数校実施している。(事務局)
- ・ できれば保護者にも説明する機会があればよい。(会長)
- 山形北高などは、説明会へ保護者も一緒に参加してもらっている。(事務局)

[協議事項]

1 平成27年度収支決算(案)及び 2 監査報告について

事務局から資料3に基づき、平成27年度収支決算(案)について、主に2次補正となった内容について説明があった。

続いて、鈴木監事から資料4に基づき監査報告があったが、報告内容が「概ね適正」となった理由について、山形駅東口交通センターから購入している「駐車場補助券」の受払簿を付けていなかったのを善処指導を行った旨の説明があった。

以上の結果、平成27年度収支決算(案)について了承された。

3 平成28年度事業計画(案)及び 4 平成28年度収支予算(案)について

事務局から、資料5及び資料5別紙に基づき平成28年度事業計画書(案)について、特に新規事業である「やまがた高等教育職業フォーラム」は8月21日に霞城セントラル1階アトリウムで開催予定であるが、参加希望を募ったところ現時点で11機関の希望があったので実施することで進めたい旨の説明があった。

引き続き事務局から、資料6に基づき平成28年度収支予算(案)について説明があり、平成28年度事業計画(案)及び平成28年度収支予算(案)について諮られた結果、了承された。

[その他]

1 ゆうキャンパス・ステーションについて（情報提供）

事務局から、資料7に基づき「生涯学習センター（遊学館）」の利用について、5月27日に県教育庁文化財・生涯学習課から聞いてきた内容について、前回（3月24日総会）と変わった点を朱書にしていること、特に大きく変わった点は、ゆうキャンパスを遊学館へ移転するか否かの意思表示について、平成28年12月頃までとされていたものが、今回「8月末までに」と変わったことの説明があった。

また、現在のゆうキャンパス・ステーションのように、いつでも使用できるようにしたいとの提案をしているが、その場合の経費負担がどのくらいかかるのかなど、県からの回答がまだないので比較検討が出来ず、現時点で本会議へ諮れる状況にないので、今後、さらに情報収集をしようとして8月末までに会議開催するなどして諮りたいと考えている旨の説明があった。

- ・（遊学館を借りることについて）最終的な意思表示はいつまでなのか。（会長）
- プロポーザルに参加するという意味では8月末までということだが、（遊学館へ）いつから入るのかについては、平成31年度中とされており、はっきりした時期は現在の所は不明である。（事務局）
- ・ 8月末までに意思表示をして設計に参加し、順調にいけば平成31年度中に移ることとなるということか。いまから3年待ちということになる。（会長）

このことについて会長から、最初この場所は（借料が）1千万円程度であったものを加藤オーナーの配慮によりかなり安くしてもらってきた経緯がある。ただ、遊学館の場合は、72万円の使用料、光熱水料と研修室費を払っても100万円程度である。また、ここは（ゆうステ）便利が良いが、遊学館も便利は良いと思われる。さらに、経費の問題で安いところを探すのは宿命のようなものがある旨の話があり、以下の質疑応答があった。

- ・ 拠出金などはどうなるのか。（遠藤委員）
- 県からの回答がまだ来ないため、何とも言えない状況である。資料7の金額は2階赤枠の部分事務室のスペースとして想定した数字であり、ほかに県には50人程度がここと同じように使えるスペースと、そうした場合の経費の算定をお願いしているが、まだ回答が来ていない。（事務局）

次いで会長から、県の遠藤課長へ意見が求められ、遠藤課長から、この施設（遊学館）自体は県の教育委員会が管理しているものであり、現在、県の管財課の方で対応している状況である。検討中のことであり正式には言えないが、問題となるのは利用料の減免措置がどのようになるか、また、常時使えるスペースがどのようになるか、この2点の対応により判断が分かれてくるが、県からは間もなく回答があると思われる旨の話があった。

続いて会長から、東北公益文科大学の神田学部長へ意見が求められ、神田学部長から、現在の場所は使いやすいので使い勝手が心配であること、それが制限されてしまった場合はどうかという点が気になる旨の話があった。

次いで、以下の質疑応答、及び意見交換があった。

- ・ 図書館は月曜日に休みだが、それとは関係なく使えるのか。(栗山委員)
- 開館についても、いまからの検討となるようである。(事務局)
- ・ ホールを使用するときは、月曜日は休みなのか。(会長)
- 現在は、毎週月曜日と第3日曜日は休みで、玄関も閉じられる。(事務局)
- ・ それは大きな問題なのでは。(会長)
- ・ 8月末に意思表示をしなければならないのであれば、意思表示をしていた方がよいと思われる。ただし、現実には維持費等は試算なのでどうか。(鈴木委員)
- ・ 最後の契約の段階でもう一度見直す方法もあるとは思っている。(会長)

以上の意見交換の後、会長から、県の提案に沿って(移転の)意思表示をしておき、最終的に負担金があまり変わらないうであれば移転はしないことで対応したい、また、県から負担金を低くしてもらえることを見越して本コンソーシアムは設計から参加したい旨の提案があり、了承された。

なお、事務局から、本件に関しては改めて総会を開催しないで、県との話し合い状況を会長、幹事会委員長と相談しながら進めたい旨の説明があった。

次いで会長から、ここ(ゆうキャンパス・ステーション)から撤去するにしても200万から300万円程度工事費が必要と思われるが、前向きに検討していきたい旨の補足説明があった。

以上

【配布資料】

- 資料 No. なし ・ 役員及び出席者名簿
- ・ 大学コンソーシアムやまがた会則
 - ・ 平成27年度大学コンソーシアムやまがた第3回総会議事録
(平成28年3月24日開催)
- 資料1 平成27年度山形人材育成委員会事業報告書(席上配布)
- 資料2 平成27年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料3 平成27年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)
- 資料4 監事監査に関する資料(5月30日:監事監査)
- 資料5 平成28年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)
- 資料6 平成28年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)
- 資料7 ゆうキャンパス・ステーションについて
- 参考資料1 平成28年度「高等教育山形宣言プロジェクト」事業募集
- 参考資料2 第5回「日本一さくらんぼ祭り」学生パフォーマンス出演団体募集への協力について(依頼)
- 参考資料3 ・ やまがた夜話(5月)「「旅の人」が見た山形 やまがたゆかりの人びと
—近代編2—」
- ・ やまがた夜話(6月)「月山を学び、地域を知るⅡ」
 - ・ やまがた夜話(7月)「医師の目からみたお話し」

議事録署名人

山形大学長

小山内 正人



羽陽学園短期大学長

渡邊 洋一



山形大学副学長 (理事)

安田 弘法

